

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
Capecitabine+Trastuzumab	21日間	最小度催吐性リスク

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
カペシタビン(セローダ)	2500mg/m ²	2×朝・夕食後	●	→													●	内服14日間で終了					

滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	生理食塩液	100mL	メイン	30分	●																				
2	トラスツズマブ 生理食塩液	初回8mg/kg 維持6mg/kg 250mL	メイン	1時間30分※	●																				
3	生理食塩液	50mL	メイン	15分	●																				

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。